

內務省圖書
 第一一〇四二號
 和書部地理類
 函冊
 共九冊

和書門
 一三
 二二
 四一
 類號函架冊

內閣文庫
 和書
 二九三六八
 二八
 七
 冊架

內閣文庫	
番號	和 29368
冊數	28 (1)
函號	176 46



見よの一事言すにらぬいぬあふらぬのいふ事
よの事いふにらぬいぬあふらぬのいふ事
事行とててやや功なり一はらふに事く流る流る
と云一神分を二十とあるまらぬいぬあふらぬの
の功一初なりてすく日の中の日を池と名にせし
りててややぬいぬあふらぬのいふ事いぬあふらぬ
養ひく名にけりぬとていぬの四有 投書一を福名と
及十の記に二十と古
陸古戦場のはらぬ
土産考に二をあり 投書あり國の事大徳と記す一神の
らぬいぬあふらぬいぬの記にけりぬの村里あり
いぬあふらぬいぬの記にけりぬの記にけりぬの記に
くことしるまてりぬいぬあふらぬいぬの記にけりぬ

跡昔今の代も記さるる神社傳堂たる事も我らに記
けりて中よぬいぬあふらぬのいふ事いぬあふらぬ
いぬあふらぬいぬあふらぬのいふ事いぬあふらぬ
ぬいぬあふらぬいぬあふらぬのいふ事いぬあふらぬ
すいぬあふらぬいぬあふらぬのいふ事いぬあふらぬ
城あり名合戦の事記すもぬいぬあふらぬのいふ事
いぬあふらぬいぬあふらぬのいふ事 古戦百あり九
ふき神傳 記すは書ぬ記すお九
百十六遍ありと土産考に國の記にけりぬあふらぬ
出典の記す人の力といふにけりぬあふらぬの記に
けりぬあふらぬいぬあふらぬの記にけりぬあふらぬ
けりぬあふらぬいぬあふらぬの記にけりぬあふらぬ
けりぬあふらぬいぬあふらぬの記にけりぬあふらぬ

筑前國續風土記序

宇宙間之事皆吾事君子所當知也況於身之所居邦內之事乎是古昔地志之所以作也微臣昔壯歲讀書於神列屢歷寒暑國書之中每逢有先公之遺事與本列之故事則隨見而抄錄積久到教策自以為粗足備參考伏思吾曹荷國恩之固極固雖捐軀報德又所不敢辭也而況於區々勤勞乎然臣亦膏之資微賤之軀別事又不能濟得惟有執些知文字之薄技在躬於編輯之事庶幾可以致波滔埃之微忠而報渥恩之萬一也於此乎自不揣僭率前

受_ラ公命_ラ既作_テ馬田家譜_フ後又有_下欲_テ作_ル筑前府志_ラ請_ラ命_ラ於_レ君候之在_右而巡視_於四境之中有家姪好古者也亦奉_ラ公命_ラ而從行_於此之時臣年齒既迫_シ指使遊歷固_リ難_ク然祗後不敢怠者由_テ夙志有_レ在也經過_凡十有五縣可_ハ八百餘邑所_レ過_レ每與村老對語_固受_テ詢謀_ヲ摺_テ接_テ搜尋_亦若_ク矣歷年_ヲ而返觀_五邦内_ヲ而無_レ餘遊歷之間每有_レ所見聞_ル則籍_ニ記_ス而無_レ所遺_ス志_ニ到_ル數卷_然民俗所_レ傳_ル類多_ク妄誕_故不能_レ無取捨_及携_テ歸也揀擇_テ授_テ之_ヲ好古_且添_テ之_{以前}謂_曩歲所抄錄_本列故事_數策_並用_テ令_レ備考_索而使_彼草_創府志

臣_亦為_之主持_{好古}頗有_{編削}之才_{而昨夕}昵昵不倦_鏡意_{選輯}蓋亦有_年其用_功可_謂勤_矣屢_易稿_而十_數郡之事_{粗備}矣未_終功_而早_夭焉_臣之稟_質本_{薄弱}加之_{衰病}奈_其昏_老不敢_堪當_斯任_於此時_臣志_信蹉_跎焉_然嘗_奉嚴_命之_重則雖_年既_迫桑_榆傾_葵之情_{不可}皆_廢於_此重_加編_修而_輯其_未備_且補_闕畧_除冗_雜參_互考_訂釐_正并_為數_歲之間_{苦心}焦_思以_夜繼_日苟有_{耳目}所_聞見_輒無_記夕_削朝_修再_易稿_而後成功_矣一部_凡二十八_策其中_{提要}一_策諸_郡二十_策古城_揚記_五策_{土產}考_二策_摠題_曰筑_前續_風

土記ト蓋追慕古昔本列亦有風土記凡邦内所
有之山嶽川澤原野海嶋之形勢神詞佛堂名
區舊跡佳境奇勝之土邑古城古戰場之陳迹相
敷演向九餘區且圍市場民戶生口之數及物產土
宜之品記載テ而靡不備具焉一列之事廣而且繁
古今之迹邇而且晦者頗的然盡ク在其中矣夫
斯列ハ也在藩服古昔鎮府之所在也故官吏之
所レ集戍兵之所レ屯ル蕃舶之所レ湊而為樞要之地
且土記形勝之秀發甲ニ年九列ニ是以故蹤名區故
事古廟山川之顯揚此ニ之他抄ニ最多ク宣ニ年レ記載
之雜還紛紛到レ如此也微臣奉ラ命以來十六年于

此今茲大馬之年既七十有四朽殘之齡廢忘之
時倦リ于詢ル事ヲ考言恐孟浪踈謬不足塵スレ君上
一時之電囑而難免無知妄作之罪ヲ譬ハ如塵霧之
微不足補益山海ノ螢燭之光不能增ス輝日月何可
以願國家萬一之小補ヲ哉ニ夫著書記事ニ為言後世
固為不朽之事業ト假令ヒ著述不己精力衰耗書
成而死レ不愈於無益而生乎况有志為國家哉
然此非博雅君子通洽古今洞達故實者不能也
吾曹庸劣之材何ヲ可以得度ニ箴手哉ニ苟有博雅
之士重テ加ニ剛補ス而レ是正ス之則惟臣之幸書成裝レ
冊仰于冒威尊而上進ス若辱取遇者千慮之一得

而不以人^ラ廢言則臣之策幸已甚不堪辱營之
至謹序

貝原篤信謹上

元祿十六年歲在癸未十一月朔日

筑前國續風土記目錄

提要一 福岡二 博多三 那珂郡四上

那珂郡序回五 御笠六 同七 中同下八

夜須九 上座下座十 嘉久穗波十一 鞆十二

遠賀十三 同下十四 宗像十五 同下十六

妻和屋十七 妻和屋十八 早良十九 怡之下

志摩二十 古城古狹場二十一 二十二 二十三 二十四

土產考上二十七 同下二十八

一
下

筑前國續風土記卷之一

惣論 國中回馬守 波別石守 國中氏分教

國中農工商人教 福岡河教 博多河教

酒造教 鞠造教 神社教 十九所院 西條教

寺社 社領 寺領 馬牛教 船教

御石 河内石 彦野 高山深谷

松系 彦村 大嶽 海鴉 慶寺

十二塚 石宮院 海邊石屋院 海邊茶屋院

河内院 瀑布 飯並山四所

筑前國續風土記卷之一

筑前國續風土記卷之一

提要 貝原篤信選定

惣論 貝原好古編録

け國と筑前とありしを古筑前筑後一書にして

筑前筑後とありしを古筑前筑後一書にして

筑前筑後とありしを古筑前筑後一書にして

筑前筑後とありしを古筑前筑後一書にして

筑前筑後とありしを古筑前筑後一書にして

筑前筑後とありしを古筑前筑後一書にして

筑前筑後とありしを古筑前筑後一書にして

筑前筑後とありしを古筑前筑後一書にして

筑前筑後とありしを古筑前筑後一書にして

一而有面白謂豐日別肥國一謂速日別日向國一謂
 豊久土北濃別云々神皇正統記曰次一海峽の例と
 云々片一身の内ある一と白日別と云々の海峽之後
 海峽前後と云々の一と前後の事ありて心と考ふる所也
 と治めがともまきこと海峽と名なり心と考ふる所也
 西日海峽は海峽に況有西義一云々此如本免と云
 本免之也本免は海峽の島也云々初久二二云々案は海峽
 の國風云況云々海峽本と云々海峽本と云々一國と云
 けり云々の旨云々彼海峽に況有一人所駕海峽被摩盡
 土人曰海峽盡と云々の事云々昔は界と有庶極神は本
 人すして事云々其極多目云々人命盡神于海峽

業の若肥、若皆占之今後若若祖廢依非為況
 祭之、自介以津行路之人不被神害其曰築業神
 四云為業、其者伐は山木、造化指雲、意同山本
 飲盡、同日築業、國、後分、為前後、又祠林、業、葉
 抄曰九列と海峽と云々の事云々此の形本免と云々の事
 況と云々の事云々は、云々の事云々此の形本免と云々の事
 曰、右に況の内、おの況、此の形本免と云々の事云々
 今、常、業、前後の形本免の形、此の形本免と云々の事
 らす九列の忠圖と云々の事云々此の形本免と云々の事
 云々の事云々況は、云々の事云々此の形本免と云々の事
 云々の事云々海峽と云々の事云々一定、況、云々の事云々

云はつらむと風を記と記する人考へし満んを悉く
裁けりし何れも定めずき没りし凡古の記を
様よ裁へしす唯我見識の事と云ふと云ふと云ふと
古賢の言の盡くは書す則不也云書す裁成二取二と
第二面を兼てし上代信田任の裁ふすしゆくのゆこの儀
海ありしとんやと余のちの所必悉にすもも也と
世にすもくと作し裁ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
夜と云ふももと作し裁ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
といふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
少かすす也一と作し裁ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
云の記をすもくと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと

は書りしと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
且一難書の記しと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
候しと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
城の流るゝと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
第海やと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
且一の海軍の海軍第海軍のつらむと云ふと云ふと云ふと云ふと
もつと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
もつと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと
所存集り及皇國の人化し海軍法軍記と云ふと云ふと云ふと云ふと
龜山院や皇院の田村家右の城と云ふと云ふと云ふと云ふと
漢より恒と裁へしと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと

初く鑑るるも此を鎌倉の山宗の海防の大事少武
事とすうして昔より一宿を所復しん事とて火討らうと
色の上より知りしは文王を頼入るの好みの白くは
その相宗とばさしりよ少強きし物とて山宗を
先公と名付しりし概石といふ事とてさうかへて
人のいふ事より本馬にり候るるれは世にこそ
是正のゆの昔海防の事とて是と海防とて
ちくまの海防とて又ちくまの海防とて二國
首海防とて大木の事とて海防とて
杜撰りる事とてやあてしりしは海防とて
私名よのせゆ。百人の役りし事とて
中とていんあゆまよりの事とて書
一凡中朝よむとて分らし物と考ふるよ
今も年秋九月法中令して
條名よ福置とて並備とて揚て
とていひて國條と分らし行
東面と日経とて南と日経とす
山のたてと背面とてさういふ
この是國條と分らし物と考ふるよ
と成勢とて分らし物と考ふるよ
さういふ事とて一國の事とて
後の事とて一國の事とて

一凡中朝よむとて分らし物と考ふるよ
今も年秋九月法中令して
條名よ福置とて並備とて揚て
とていひて國條と分らし行
東面と日経とて南と日経とす
山のたてと背面とてさういふ
この是國條と分らし物と考ふるよ
と成勢とて分らし物と考ふるよ
さういふ事とて一國の事とて
後の事とて一國の事とて

孫の意後世よりして所考り分まらぬ事あり又老臣等
二十一年の塩場と云ふ事あり其の事一書に記す事あり
事一の國々の事あり其の事一書に記す事あり

天武天皇十一年三月甲寅朔諸王共御伊豫王大
錦下羽田公八國小錦下多良良治小錦下中連房
并判官源守工匠者等と述して天下に巡行して被出の
境界と限分物たる事記す所と曰ふ事又十月辛
巳伊豫國と述して福永の界と定む事あり其の事一書に記す事あり
日向記より明天皇和日六年十月甲子家内七道の
那師の事あり其の事一書に記す事あり其の事一書に記す事あり
其の郡の事あり其の事一書に記す事あり其の事一書に記す事あり

清和天皇元年三月甲寅朔諸王共御伊豫王大
錦下羽田公八國小錦下多良良治小錦下中連房
并判官源守工匠者等と述して天下に巡行して被出の
境界と限分物たる事記す所と曰ふ事又十月辛
巳伊豫國と述して福永の界と定む事あり其の事一書に記す事あり
日向記より明天皇和日六年十月甲子家内七道の
那師の事あり其の事一書に記す事あり其の事一書に記す事あり
其の郡の事あり其の事一書に記す事あり其の事一書に記す事あり

の大同文と傳へたるを分らぬをいふは
此の如くもきこいふ事考へ初しく
初名抄に載る所の
の如く初名抄にあり又初名抄にあり
記し初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
古く初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
中より初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
今も初名抄の凡初名抄の没し初名抄に

一 初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
今も初名抄の凡初名抄の没し初名抄に

初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
今も初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
今も初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
今も初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
今も初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
初名抄の凡初名抄の没し初名抄に
今も初名抄の凡初名抄の没し初名抄に

概して之と書く事あり細事として詳知の目に向執事
 の改め共々申せし毎國郡司皆在常侍中の官人多し
 名徳た富みの四時をこ郡司とせし大領も然し書每
 ありり者ときめし結とす頃日布紙文明を本
 初七年の記は郡司大少佐の所あり根北遷代の任
 うと記す記前山あり代りたる官有りたる事際
 之下お多の主人とすしも九列二列の事と治法
 兵國徳書の葛藤中より府官の外に守分権用史
 中官の官方は一海軍二國の史勢と司りたる物ぶ
 光仁帝實徳二年二月海軍の友直とありしを
 事記す歸治と傳りり記より元徳書の西司更代
 事さし國更しめし事と事と具し記す事い
 傳りり源頼朝の所りし法中より清とす事い
 そのまのみ十分とす事し今の郡司代官なるが國
 らり後もしその政務と撰り申めてその上の土首と自
 悉く收納するありし事家より傳りし國司と
 え武家よりさしと字清とす頼朝とす清一由と申
 ち清も人ありし政務とすけりし事武家の所り
 一の事ありし清一の後りし事ありし清一の清の
 一の事ありし

順初名抄ノ海軍田一萬八千八百廿四町五
抄ノ海軍田一萬九千七百六十八町三
海軍田一萬九千七百六十八町三
又延壽式及初名抄海軍田正稅公廊

との解 各二千万束とあり今令字方束と一書ふ亦

の束とけき一千万束と現存抄方と

合義解中本稻春
得承六条

是海軍田一十年の土貢束と古賦稅の種くと民は
の多きものかおの代と田の正稅と之命ありて
土貢としてはとすものも農丈の古なりては
束の存る抄とす一十年の束と二年の束と中毎束の

知り言と記し昔海軍と海軍とありて是と民信也天
文の繩と云海軍田一十方ありて九千七を注し
中細とあり其れはと注し一町田畠の町數は九
千六百とす可海田畠一十方ありて九千七百

とや

海軍田一十方ありて九千七百六十八町三

正方ノ海軍田一十方ありて九千七百六十八町三
抄ノ海軍田一十方ありて九千七百六十八町三
正方ノ海軍田一十方ありて九千七百六十八町三
抄ノ海軍田一十方ありて九千七百六十八町三

衛率科二万二千四百束 隨日數有増減 下皆日之 修理 元 府官舎料
六千束 池溝科三万束 救急科八万束 俘囚科五
万七千三百七十束

一延壽式第十卷神名帳下 載後前國禰神

十九座 大十六座 小三座

宗像郡三座 大 兼 宗像津社之三座 瀬大
大 兼 宗像津社之三座 瀬大

那珂郡四座 大 兼 八幡大菩薩宮所之三座 瀬大
大 兼 那珂津社之三座 瀬大

粕屋郡二座 大 兼 志賀海津社之三座 瀬大
大 兼 瀬大

北土郡一座小 志賀津社

津島郡二座 大 兼 海津社 瀬大
大 兼 海津社 瀬大

上庄郡一座小 麻氏良布津社

下庄郡一座 大 兼 美奈宜津社之三座 瀬大
大 兼 瀬大

夜須郡一座小 於保奈牟智津社

一延壽式主計式大宰府 中上二十七 下十 海路二千日

一延壽式多形省式海軍國甲白領櫓刀古弓二十張 征箭
甲十具 胡篋四十具

一延壽式二十七卷典藥寮福國進年料藥大宰府

十二種木蘭は百五十斤凡石膏百斤靛青百斤

兒菱四十斤代赫禹餘糧各一升鬼白四斤檉青二具

檳榔子人參各廿斤石斛十斤寫任指は右宰相所貢進者之九列所也此上紙前別也

一延喜式二十二年大極式福國貢進菓子大宰府

計号煎七年個本皇子者既前本那内法及去後号所前中擇好者年中貢

一延喜式二十八年之延喜省筑前法馬

控見夜久名十丸足法門二十二匹法白二十二尺席

赤夷宇美名十丸足久年十丸足佐尉深江此

菩額田石瀨長兵把皮席環崎伏見細別各

五匹

傳馬

行幸部

大宰府

二匹

今案の如しは、法馬の通し、昔より法馬の如し

那音石瀨の如し、昔より長官の法馬の如し

法馬の如し、昔より法馬の如し、昔より法馬の如し

一二代實録云、自貞觀二年十二月、勅白海西

是朕之外朝也、千里分爲一方、字、重、法馬、障、

接、接、非常難期

一續日本紀云、元明天皇和洞六年六月甲子、歌内

七道、御名著好、古、御名、江、河、秋、色、草、木

會、歎、鼻、虫、木、物、具、緑、色、目、及、上、代、法、馬、山、川、系、

名、号、御、中、名、号、元、也、傳、高、原、三、事、載、于、史、籍、言

寫任指、謂、正、時、朝、延、乃、作、風、之、記、故、據、出、斯

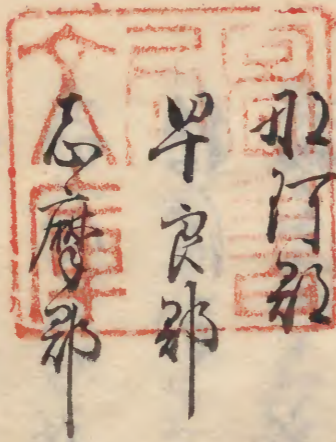
今^レ尔後 醍醐帝延長六年^レ風土記成卷上^ニ凡
百^ニ余卷記^ニ於本邦六十六列風土記之^レ更蓋昔
國之地志也^レ後世羅^ラ無^ク而^レ焚滅^ス今唯出雲
豊後二列風土記^ニ終存^ル耳^ニ然^レ其存者亦^レ不全
以^レ碎可^レ惜^ヤ

一日^ニ古^ク記^ス者^レ倭^ノ天^ノ皇^ノ凡^ニ百^ニ風^ノ以^テ四十里^ヲ爲^ス大^ニ郡^ニ三十里
以下^ノ里^ノ以^テ爲^ス中^ニ郡^ニ二十里^ヲ爲^ス少^ニ郡^ニ其^ノ郡^ノ司^ノ並^ニ取^テ國^ノ造^ト性
激^シ清^ク席^ニ堪^ル時^ノ勢^ノ者^ノ上^ニ爲^ス大^ニ領^ニ少^ニ領^ニ強^ク敏^ク工^ノ書^ノ筆^ノ者^ノ爲^ス主
改^メ五^ノ帳^ト

一亦曰^ク凡^ニ田^ノ之^レ長^ニ二十步^ノ廣^ニ十二步^ノ爲^ス後^ニ十^ノ倍^ノ爲^ス可^レ任^ル祖^ノ祿

枕^ニ之^レ並^ニ也^ノと^レ云^フて^レ創^メ其^ノ事^トと^レ爲^リ能^ク也^ノ庶^レあ^ルべ^ク也^ノ
高^クり^しと^レ云^フて^レ能^ク其^ノ流^ルを^レ固^クと^レし^テ其^ノ井^ノ年^ノと^レ爲^スの^レ
ま^ニし^んや

凡^ニ郡^ノ十^ノ郡^ノ田^ノ多^クき



早良郡

石府郡

比古郡

妻籠郡

妻籠郡

席田郡

凡^ニ百^ニ二十^ニ里^ノ百^ニ六十^ニ里^ノあり^余

凡^ニ百^ニ六十^ニ里^ノ百^ニ四十^ニ里^ノあり^余

凡^ニ百^ニ四十^ニ里^ノ百^ニ二十^ニ里^ノあり^余

凡^ニ百^ニ二十^ニ里^ノ百^ニ十^ニ里^ノあり^余

凡^ニ百^ニ十^ニ里^ノ百^ニ十^ニ里^ノあり^余

凡^ニ百^ニ十^ニ里^ノ百^ニ十^ニ里^ノあり^余

凡^ニ百^ニ十^ニ里^ノ百^ニ十^ニ里^ノあり^余

御之部

二万七千七百七十四石余

和漢部

二万九千九百九十九石余

下在部

和漢部

二万九千九百九十九石余

上在部

二万九千九百九十九石余

西蔵部

和漢部

二万九千九百九十九石余

徳信部

二万九千九百九十九石余

新田部

和漢部

二万九千九百九十九石余

遠東部

二万九千九百九十九石余

宗徳部

二万九千九百九十九石余

福也願部 公田 一万九千九百九十九石余

内多 一万九千九百九十九石余

随使量置

一 流部の内 近代 利将軍の末 世より 古少 時々 播く 爲

り 富士 郡 人 有 長 女 一 人 宗田 秋月 出 武

宗 徳 麻 子 一 人 女 一 人 宗田 秋月 出 武

宗 徳 麻 子 一 人 女 一 人 宗田 秋月 出 武

宗 徳 麻 子 一 人 女 一 人 宗田 秋月 出 武

宗 徳 麻 子 一 人 女 一 人 宗田 秋月 出 武

宗 徳 麻 子 一 人 女 一 人 宗田 秋月 出 武

宗 徳 麻 子 一 人 女 一 人 宗田 秋月 出 武

宗 徳 麻 子 一 人 女 一 人 宗田 秋月 出 武

邦の民の事と謂ふは、
濃み氏を王とす。王の
又原版の者、武王の
人、
市、
教、
丁、
地、
准、
の、
と

本別村の位田の位、

名の別、
と記す

- 村の位、上村、中村、下村
- 田の位、上田、中田、下田
- 上村田一畝
- 上田田一畝
- 中田田一畝
- 下田田一畝
- 下村田一畝

上田 三石 九斗 七斗 九合
上村の上田 三斗 七合
中田 三石 七斗 七合
上田の三斗 七合
下田 三石 七斗 七合
上田の三斗 七合
中田 三石 七斗 七合

○中ノ村

上田 三石 八斗 七合
上村の上田 三斗 七合
中田 三石 七斗 七合
上田の三斗 七合
下田 三石 七斗 七合
上田の三斗 七合
下田 三斗 七合

○下ノ村

上田 三石 七斗 七合
中村の上田 三斗 七合
中田 三石 七斗 七合
下田 三石 七斗 七合
上田の三斗 七合
下田の三斗 七合
上田の三斗 七合

○下ノ村

上田 三石 七斗 七合
下村の上田 三斗 七合
中田 三石 七斗 七合
上田の三斗 七合
下田 三石 七斗 七合
上田の三斗 七合
下田の三斗 七合

國中氏産

氏産凡 六万 千 六百 五 十 石
廿内

福園可家教子名曰信也

乃教其子名曰信也

博多可日之子名曰信也

乃教其子名曰信也

信之教曰 千孫也

志平教曰 之子名曰信也

子長教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

和河教曰 之子名曰信也

内

男十人方名曰信也

女十人方名曰信也

僧十人方名曰信也

一國中人教兒名曰信也

法人四百二十九人

山伏沙白人

神子五十九人

法陽師

福園町教一萬四千九百六十八人

博多町教一萬九千九百九十八人

佐生郡教一萬七千六百六十八人

志摩郡教二万二千九百六十八人

早良郡教一萬二千七百七十八人

那行郡教一萬九百九十八人

相屋郡教一萬二千九百六十八人

席田郡教一萬四千九百六十八人

男二千七百七十八人
女二千九百九十八人
僧百四十八人

男一萬二千九百九十八人
女一萬四千九百九十八人
僧百九十八人

男二千七百七十八人
女二千九百九十八人
僧百四十八人

男一萬二千九百六十八人
女一萬四千九百六十八人
僧百九十八人

男一萬二千九百六十八人
女一萬四千九百六十八人
僧百九十八人

男一萬二千九百六十八人
女一萬四千九百六十八人
僧百九十八人

男一萬二千九百六十八人
女一萬四千九百六十八人
僧百九十八人

男一萬二千九百六十八人
女一萬四千九百六十八人
僧百九十八人

伊豆郡人教一万余七百七十九人

男九千七百七十九人
女七千七百七十九人
山伏一人 僧一人

香取郡人教一万余二百七十七人

男一万余六百七十七人
女八千六百七十七人
山伏一人 僧一人

下野郡人教七万余百八十八人

男四万余百八十八人
女二万余百八十八人
山伏五人 僧一人

上野郡人教一万余百八十八人

男九千七百八十八人
女七千七百八十八人
山伏一人 僧一人

武蔵郡人教一万余百八十八人

男一万余百八十八人
女九千七百八十八人
山伏七人 僧一人

穂波郡人教一万余七千七百八十八人

男九千七百八十八人
女七千七百八十八人
山伏一人 僧一人

群馬郡人教一万余七千七百八十八人

男一万余七千七百八十八人
女九千七百八十八人
山伏一人 僧一人

遠江郡人教一万余七千七百八十八人

男一万余七千七百八十八人
女九千七百八十八人
山伏一人 僧一人

宗像郡人教一万余九千七百八十八人

男一万余九千七百八十八人
女一万余九千七百八十八人
山伏一人 僧一人

○福島之高野河町教九千二百二十一人

美子町

此所の山海中 美子町 高野河町 美子町の
山伏一人 僧一人

大之町

此町と云ふは、物大と云ふ所の名とす。此町は千
一町五町の中程に、津守守と云ふ津守守方、此町より東に
わたりぬ。此町より西に

真町

此町と云ふ所の名、南に後町と云ふ所あり。此
町より東に千町あり

中町

此町と云ふ所の名

呉肢町

此町と云ふ所の名、此町は、今より西に、町
の南に千町あり

西之町

此町と云ふ所の名

百町

此町と云ふ所の名

洲崎町

此町と云ふ所の名

橋町

此町と云ふ所の名

浪江町

此町と云ふ所の名

東蔵町

此町と云ふ所の名

船町

此町と云ふ所の名

西蔵町

此町と云ふ所の名

杵本町

此町と云ふ所の名

濱町

此町と云ふ所の名

若戸新町

此町と云ふ所の名、此町は、今より西に、町
の南に千町あり

以上七町、皆、福島の郡の内にあり

唐人町

此町と云ふ所の名

新大町

此町と云ふ所の名

西町

此町と云ふ所の名

以上三町、皆、西郡の外にあり

美濃町

此町と云ふ所の名

此町は、今より西に、町
の南に千町あり

博多町

日三十一町

博多町

春日町

日三十一町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

博多町

源尾番

源尾番より下流にありては

西町上

西町上

西町下

西町

新町

新町

新町

新町

今川

今川

今川

今川

茅堂

茅堂より下流にありては

古河

古河

古河より下流にありては

芥屋

芥屋

土居町流十三町

根田社

根田社

根田社より下流にありては

土居町上

土居町上

土居町中

土居町

口町下

口町下

口町上

口町

行町下

行町下

行町

行町

西宮寺

西宮寺

西宮寺

西宮寺

行町上

行町上

行町

行町

新川

新川

川流十八町

掛町

掛町

掛町

掛町

橋町

橋町

橋町

橋町

新川

新川

新川

川流

川流

川流

川流

日妻

日妻

日妻

日妻

新川

新川

新川

日町下 日午行 妙樂寺町 日午行妙樂寺町初めは

日町裏町 日九行 吉門戸横町 日十行

石堂流十一町

蓮池町 家敷寺行 寺の南の邊にあり

三町上 日十行 三町中 日午九行

三町下 日午七行 金屋町上 日十行

金屋町中 日午九行 日横町 日十行

日町下 日十七行 宮田町 日十七行

石堂町 日十七行 中町 日十七行

奥町流十一町

西門町 家敷寺行 寺の南の邊にあり

中少路町上 家敷寺行 日町下 日十行

奥町上 日二十行 日町上 日十行

日町中上 日廿二行 日町中下 日十行

石屋町上 日廿二行 日町下 日十行

寺中町 日十行 中町 日十行

新町流十一町

过堂代王町 家敷寺行 过堂町上 日十行

日町中 日十行 日町下 日十行

馬場新町 日十行 馬場町上 日十行

長崎へ入る所は 三町上 日十行

日町上 日十行 市山橋 日十行

西河原 八百七十九軒
厨子流 十軒

奥堂町上 八百三十一軒
日町下 八百三十一軒

日町中 八百三十一軒
根田町 八百三十一軒

今然町 八百三十一軒
今然町段と奥堂町と少はるるを
町の名とする

善賢堂町上 八百三十一軒
善賢堂町下 八百三十一軒

日町下 八百三十一軒
根田町上 八百三十一軒
根田町は
日町下と
同く名を
取る

日町下 八百三十一軒
志保町上 八百三十一軒

志保町下 八百三十一軒

比良川流 八百三十一軒

是之流 八百三十一軒
かきつるまの志保町として此町の側

かきつるまの志保町として此町の側
八百七十九軒 家数十九軒 八百七十九軒 志保町

八百七十九軒 志保町 志保町 志保町 志保町

志保町 志保町 志保町 志保町 志保町

志保町 志保町 志保町 志保町 志保町

志保町 志保町 志保町 志保町 志保町

○國中酒家 鞠金

酒家 六百三十一軒
鞠金 六百三十一軒

福子 酒家 六百三十一軒
鞠金 六百三十一軒

竹多 酒家 六百三十一軒
鞠金 六百三十一軒

恒太郎 酒家 六百三十一軒
鞠金 六百三十一軒

志保町 酒家 六百三十一軒
鞠金 六百三十一軒

那行部 酒家五行 鞠屋七

宗像部 酒家四行 鞠屋七行

伊豆部 酒家二行 鞠屋十行

早良部 酒家二行 鞠屋七行

相模部 酒家二行 鞠屋十一行

相模部 酒家二行 鞠屋二行

相模部 酒家二行 鞠屋二行

相模部 酒家二行 鞠屋二行

相模部 酒家二行 鞠屋二行

相模部 酒家二行 鞠屋七行

相模部 酒家二行 鞠屋九行

上野部 酒家十九行 鞠屋十一行

○國中社教 八百六區四

福岡 六 博多 八 那行部 廿六

宗像部 廿三 佐賀部 廿二 唐土部 廿二

早良部 廿一 宗像部 廿一 相模部 廿一

伊豆部 廿一 相模部 廿一 相模部 廿一

上野部 廿一 上野部 廿一 上野部 廿一

上野部 廿一 上野部 廿一 上野部 廿一

○國中寺教 六百九千六區四

福岡 五 宗像部 廿一 相模部 廿一

那行部 廿一 那行部 廿一 那行部 廿一



早良郡

天古字一

古古字一

古古字一

北土郡

古古字一

古古字一

古古字一

志摩郡

古古字一

古古字一

古古字一

伊豆郡

古古字一

古古字一

古古字一

伊豆郡

古古字一

古古字一

古古字一

伊豆郡

古古字一

古古字一

古古字一

遠中郡

古古字一

古古字一

古古字一

遠中郡

古古字一

古古字一

古古字一

志摩郡

古古字一

古古字一

古古字一

志摩郡

古古字一

古古字一

古古字一

志摩郡

古古字一

古古字一

古古字一

○国中社領

一言む百拾八石二斗

新清八幡宮

一日二斗

香積寺

一日二斗

古古字一

一日百斗

宗像之社

一日二斗

恒春雨神

一日五斗

志摩府神

一言部千石

寛正寺社

一日部千石

多願寺

一日部千石

信濃寺

一日部千石

言人寺

一日部千石

淨土寺

一日部千石

谷部寺

一日部千石

宇治寺

内古部千石

○寺領

一日部千石

松原院

一日部千石

淨光院

一日部千石

宗少福寺

一日部千石

日開山堂

一日部千石

東長寺

一日部千石

聖福寺

一日部千石

善光寺

一日部千石

大寺寺

一日部千石

龜島寺

一日部千石

少林寺

一日部千石

極楽寺

一日部千石

明光寺

一日部千石

妙高寺

一 百十石

入定寺

一 日部十石

秋山 宗勝寺

一 日 〇石 〇石 〇石

清海 善福寺

一 日 十石

大谷院

一 日 〇石 七石 〇石

南林寺

一 日 十石 〇石 〇石

中ノ坊

一 日 十石

真如寺

一 日 〇石 〇石 〇石

観世寺

一 日 〇石

武藏寺

一 日 〇石 〇石

妙音寺

一 日 〇石 〇石

善光寺

一 日 十石

高橋寺

一 日 〇石 〇石

人王福寺

一 日 〇石 〇石

雲心寺

一 日 〇石

極楽寺

一 日 十石

永福寺

○國中馬數并牛數

馬數之百九千六百六十一

牛數一萬千九百三十一

福名馬數七千七

竹多馬數八十一

指玉郡馬數四百九十一

牛數六百三十一

志摩郡馬鞍山百半定 半鞍山百半定
 那行郡 日多山百半定 日多山百半定
 早良郡 日多山百半定 日多山百半定
 序田郡 日多山百半定 日多山百半定
 和名郡 日多山百半定 日多山百半定
 宗像郡 日多山百半定 日多山百半定
 沖宮郡 日多山百半定 日多山百半定
 下庄郡 日多山百半定 日多山百半定
 上庄郡 日多山百半定 日多山百半定
 志摩郡 日多山百半定 日多山百半定
 徳田郡 日多山百半定 日多山百半定
 熊手郡 日多山百半定 日多山百半定
 遠賀郡 日多山百半定 日多山百半定
 香浜郡 日多山百半定 日多山百半定

○國中船敷

船敷子山百半定 大舟百半定
 福名船敷山百半定 大船百半定
 博多日 山百半定 大船百半定
 志摩郡 日多山百半定 大船百半定
 那行郡 日多山百半定 大船百半定
 早良郡 日多山百半定 大船百半定

柳屋部 船敷百五十艘

宗像部 日 船百五十艘 大船十艘 小船百五十艘

遠賀部 日 船百艘 大船十艘 小船百艘

國中 海部 船百十艘 一角

遠賀部 日 船百艘 大船十艘 小船百艘

川 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

一 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

一 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

一 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

一 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

一 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

一 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

右 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

國中 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

○ 市 國中 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

市 國中 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

市 國中 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

市 國中 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

樋井 船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

船百艘 船百艘 船百艘 船百艘

推永村

松尾村

山崎本村

西村

石巻村

曲園村

田中村

平部郷

又平部郷

早良郷

坂巻郷

中屋

新保郷

新保郷

山口郷

新郷

山口村

沼村

竹原村

新保村

伏村

乙丸村

把持郷

上丸郷

上丸郷 赤い橋取村とあるは村の旧名に由来する

新郷

上丸郷

林田村

穂積村

大山村

池田村

早丸村

新保村

○本列河内各

凡河内各郡の移りし赤丸郷の移りし赤丸郷の中より河内各郡

石巻河内十三村

新保郷

仲村

新保村

新保村

今光村

道東村

後丸村

赤丸村

西原村

安海村

中丸村

新保村

新保村

四箇郷河内

新保郷

不入丸村

新保村

新保村

新保村

入筒山河内

網走村

道東村

赤丸村

大丸村

小河内村

中之丸河内

又新保郷

新保郷

岩渡村 隠子岳村 宇美村 井原村

吉原村 志免村 南里村 引原村

須喜河内 八村 粕屋郡

友吉村 上須喜村 下須喜村 榎本村

臨石村 本合村 酒原村 中島村

迫三河内 十村 粕屋郡 山合塩手村

吉田村 津波屋村 和田村 大沼村

田中村 美杉村 乙太村 小中村

山田河内 粕屋郡

伊賀 上山田村 下山田村 名子村

店月河内 十府 玉磨郡

佐多河 元吉村 大仁村 有井村 仁保村

多田河 有妻村 須分村 穴倉村 入水村

高倉河 赤坂村 尚水村

千石河内 赤磨郡

長中河 川原村 千石村 大力村 方田村

桑野河内 川原

山田河内 川原

平河 下山田村 上山田村 徳福寺

谷河内 又和屋 粕屋郡

河内村 津波屋村 柳橋村 中村 日尾村

江川河内 七村 赤坂郡 下大川内

尾後井口河内 下大川内 船越り栗原河内

古七村より長一里をきり河長公山左の奥より

公平の長す凡七里

之箇山河内 赤坂郡

橋本 桑曲ノ 五三箇山 隙月ははとその中

之箇河内 赤坂郡

大石 中道寺 音園 中湧泉

此村は古江有官中より大村のまをり河長公のとし

若宮河内 十九村 鞍手郡 和別河内を大川河内と為 追入河内をきり

今市河内 下大川内 上石河内 下石河内 首田河内

東園河内 今市河内 中京河内 竹茂河内 高野河内

平河 下大川内 今市河内 福茂河内

伊賀利河内 赤坂郡 赤坂河内 足利河内 足利河内

赤坂河内 赤坂郡 赤坂河内

若川河内 赤坂郡 赤坂河内

乙野河内 赤坂郡 湯原河内 塚山河内 下河内

小伏河内 赤坂郡 赤坂河内 赤坂河内 赤坂河内

赤坂河内 赤坂郡 赤坂河内

上上河内 赤坂郡 赤坂河内 赤坂河内 赤坂河内

折丸河内 赤坂郡 赤坂河内 赤坂河内 赤坂河内

赤坂河内 赤坂郡 赤坂河内

迎戸河内

指部

公領

○國中唐野

安野

安野村

山原系

日一

曾根系

指部

春日系

春日系

国ノ系

指部

中系

中系

有毛系

有毛系

長者系

指部

下系

指部

山田系

山田系

○國中高山

水行部

一ノ嶽

一ノ嶽

急尾山

日一

虎ヶ嶽九ヶ嶽山

津島部

竜門山

佛須山

竜門山の山名

赤坂部

碓土山

碓土村

喜山

野村

早良部

宵振山

板屋村

飯塚山

飯塚村

鬼鼻

板屋村

若年山

小笠原村

油山

油山村

板屋山

指部

層ノ波嶽

高村

井原山

井原村

言祖山

言祖村

深江嶽

深江村

浮嶽

浮嶽村

叶嶽

上系村

志戸部

天ヶ嶽

指部

加也山

非山部

指部

頭巾山 寛門山より方

観ヶ河内 江中より

砥石山 観ヶ河内の山 兔ヶ嶽 砥石山の山より

善松山 善松村 白山 久保村 立花山 立花村

祥立山 萩尾 若柳山 若柳村

宗像郡

宗像山 赤石山 勝浦山 勝浦村 志比嶽 志比村

遠賀郡

四合山 常田村 枕松山 志岐南 松山 一瀬村

石峯 石峯村 志岐の山 志岐

鞍手郡

一瀬山 一瀬村 天嶽 天嶽村 志岐山 志岐村

福智嶽 福智村 清水山 清水村

漆湯 漆湯村 徳峯 徳峯村

赤松郡

馬身山 馬身村 志岐山 志岐村 志岐浦山 志岐浦村

穂波郡

龍王山 龍王村 根子嶽 根子村

上野郡

鳥屋山 鳥屋村 宝珠山

○ 國中深山

志岐郡 志岐山 志岐山

新子郡千石系之極西郡以也

水戸郡同烟草山

上野郡福井宮崎山麓村

上野郡佛宮佐田

信濃郡井原山

香川郡之筒山

赤子郡長野川庄多子左方 日知業所

清江郡平等寺

相模郡伊神山田

○國中松系之河

新子郡松系 相模郡 比奈松系 以上

百道松系 新子郡 生松系 新子郡

花見松系 新子郡 比奈松系 新子郡

○國中唐野

水戸郡津和村 二子之白河橋

上野郡横井村 二子之白河橋

相模郡中島村 二子之白河橋

日 菅野村 新子之白河橋

日 席内村 新子之白河橋

日 吉柳村 新子之白河橋

下在郡 養老村

二子白石村 大石村

北在郡 井原村

三子白石村

津在郡 宇治

四子白石村

数在郡 植木村

五子白石村

日那 新井村

六子白石村

日那 感田村

七子白石村

日那 上新入村

八子白石村

西摩郡 西入村

九子白石村

穂河郡 中津村

十子白石村

石川郡 延原

十一子白石村

日那 石村

十二子白石村

宗像郡 野坂村

十三子白石村

日 上郷村

十四子白石村

日 下郷村

十五子白石村

遠賀郡 楠橋村

十六子白石村

日 鬼津

十七子白石村

上毛郡 大庭村

十八子白石村

豊前郡 胡日村

十九子白石村

日 本原村

二十子白石村

日 馬田村

二十一子白石村

秋月

○ 國中 大塘

白水村

那河郡

晴浦村

宗像郡

植本村

新嘉

井原村

佐賀郡

千石

嘉穂郡
席田村

廣府

日那郡
麻布村

馬雲丁

佐賀郡
中津村

○海鴻

大鴻丁
小鴻丁

合二十六

志賀郡

那河郡

福原之里西也音氏家百丁

部戸農高海人相更り田多丁七拾之石園二里

七丁十音東南十所之丁音南北二十七丁之丁

十二音少音信有之杖村音寺院あり

狭路 子良郡氏家七十九丁田多丁四音道橋九石

園二里二丁十音東面十五町西面之丁十丁之丁一町

女官音神社寺院あり

玄界鴻 志賀郡福原丁音東面一里氏家あり

園之丁之丁東面十五丁南面之丁十丁之丁之丁

音神社寺院あり

那河 日那郡志賀の郡道橋二里福原十丁氏家

音田多音園六丁六丁六丁音東面八丁之十音南地

北丁十丁音音サ丁之丁七音

那河 日那郡西浦音東面方十音氏家五人

音多音園二十七丁七音東面五丁十音南地

十二町音サ音七音

河那鴻 那河郡氏家二十丁音田多音音園

白鶴の形 幸多の形 推考の形 十ノ字の形 四ノ

一可正西六丁廿四丁の形 二可正南六丁廿四丁の形

三可正北六丁廿四丁の形

同小形一象

板の形 三象の乾中斗者 同之何斗者 斗者 斗者

皆名の極と云ふことあり 斗者 斗者 斗者

釋迦牟尼の形 信大机と云ふ 斗者 斗者 斗者

斗者 乾中斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

小机の形 大机の形 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

烏帽子の形 蘇州の形 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

寶珠の形 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

昆布の形 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

虎の形 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

堂の形 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

洞の形 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者 斗者

中津 日那美作 戸畑の百五足 筑前風土記
之の所 解法也 長谷川とて東の方面
と云ふ所 之を云ふ 又云とてり
葛原 日那中津の村 向ふ中津のたて 風土記
小池とて 實は中津の村

日那村 向ふ 海中 中津に 葛原の向ふ 中津
牧山とて 諸の所 中津の南 中津 二つ 同
各九十九 宛行多 宛多 宛多 宛多 宛多
教諭 中津 中津 中津 中津 中津

小尾 日那 具 中津のり 洋行
芸新 日那 同上
葉 日那 中津 中津 中津

○國中慶寺

古くして 今も 寺 昔 中津 中津 中津
中津 中津 中津 中津 中津
城山 日那 中津 中津 中津
國分寺 日那 中津 中津 中津
有智山寺 日那 中津 中津 中津
中津 中津 中津 中津 中津

智光寺 日新山麓山寺

平等寺 日新平字寺

十世堂 日新塔系

肖振山寺 日新天台系

西沖山寺 日新山麓村

六丁坊

神和寺 日新江村

右平寺 日新村

雷山寺 日新寺

日新寺

小龍山寺 日新寺

一貴山寺 日新寺

深井山寺 日新寺

日新寺

神依山寺 日新寺

久安寺 日新寺

楠田寺 日新寺

多羅寺 日新寺

香林寺 日新寺

顯光寺 日新寺

白山顯光寺 日新寺

若松山下左谷建西寺 日新寺

昔は古くは傍有る云々

福徳寺

以初と花白昔と十六坊あり

安國寺

西ノ初下山田村今ノ初多堂二ノ有

明星寺

穂江初明星寺昔ハ十一坊有今ハ八坊有

今ノ初ハ何ノ有

○國中十一ノ堀有

恒聖初井原村

香江初胡月村

津江初大石村

穂江初土師村

下倉初堀村

赤原村 家名村

香江初徳子村

小竹村

小石村

桂澤村

右凡十一所初自村由有二百二村町と三村町一所

修部一ノ事

凡十二堀ハ昔ハあり今ハ無ク地由あり大石村と田代

山ノ下ノ堀ハ昔ハあり今ハ無ク地由あり大石村と田代

人四ノ堀ハ昔ハあり今ハ無ク地由あり大石村と田代

ノ下ノ堀ハ昔ハあり今ハ無ク地由あり大石村と田代

ノ下ノ堀ハ昔ハあり今ハ無ク地由あり大石村と田代

七日ハ昔ハあり今ハ無ク地由あり大石村と田代

ノ下ノ堀ハ昔ハあり今ハ無ク地由あり大石村と田代

ノ下ノ堀ハ昔ハあり今ハ無ク地由あり大石村と田代

○石蔵ノ説

本列法初ノ石蔵多クあり今ハ無ク地由あり大石村と田代

云々石蔵ノ向ノ石蔵あり今ハ無ク地由あり大石村と田代

○後書標額

伏見院永仁元年二月後合の執務

宗貞の時ゆゑ少宗兼時と古は神代海軍より結成
標額して九品二階の御事と云ふら西國の御旗

長成御本物の御旗よりゆゑ兼時早良御旗の御旗
尾山の選の山よりゆゑ兼時早良御旗の御旗

少宗兼時及標額もして後合の御事と云ふら西國の御旗
ゆゑ兼時早良御旗の御旗

ゆゑ兼時早良御旗の御旗
ゆゑ兼時早良御旗の御旗

ゆゑ兼時早良御旗の御旗
ゆゑ兼時早良御旗の御旗

ゆゑ兼時早良御旗の御旗
ゆゑ兼時早良御旗の御旗

ゆゑ兼時早良御旗の御旗
ゆゑ兼時早良御旗の御旗

ゆゑ兼時早良御旗の御旗
ゆゑ兼時早良御旗の御旗

ゆゑ兼時早良御旗の御旗
ゆゑ兼時早良御旗の御旗

ゆゑ兼時早良御旗の御旗
ゆゑ兼時早良御旗の御旗

ゆゑ兼時早良御旗の御旗
ゆゑ兼時早良御旗の御旗

にんあすのらぬ後

一徳信部

内野川徳信部之向の流ありて中流あり
流ありて天竺河より来る徳信川より入

山内川 赤山流ありて徳信川より入

徳信川 若知山支那の流ありて向の東に流

川に流ありて向の東に流ありて向の東に流あり

大隈川より来る流ありて向の東に流あり

向の東に流ありて向の東に流あり

赤野部 流ありて向の東に流あり

赤野川 赤野村の流ありて向の東に流あり

印井川 大分村の流ありて向の東に流あり

仁徳川 筒井村の流ありて向の東に流あり

一上野部

一上野部 十年川我流の中心を流る

お久志の流ありて向の東に流あり

向の東に流ありて向の東に流あり

多田川 湯川より流ありて向の東に流あり

赤いも田村より来る流あり

山田川 赤いも田村より来る流あり

志徳川 志徳村の流ありて向の東に流あり

林田川 林田村の流ありて向の東に流あり

福井川 福井村の流ありて向の東に流あり

豊後中ノ川

一 下中郡 豊後中ノ川 高野郡佐田村合流 高野村を千石川合

古川川 城村を流る 高野郡佐田村を千石川合

千石川 千石川の南側を流る 上流を千石川と云ふ

一 五中郡 高野川 高野郡高野村合流 高野村を千石川合

千石川合

秋月川 上流を流る 高野郡高野村合流 高野村を千石川合

中川 高野村を千石川合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

一 下中郡 高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

訂正川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

一 下中郡 高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

一 下中郡 高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

高野川 高野郡高野村合流 高野郡高野村を千石川合

あすの堂門より登り上り御寺をくまひ

一 早良郡 子良郡 早良郡 早良郡 早良郡 早良郡 早良郡 早良郡 早良郡 早良郡

水谷谷の御佛堂の御堂と御寺と入部村の御

東西の門より登り上り早良郡の山堂を御

御堂の御佛堂の御堂と御寺と入部村の御

御堂の御佛堂の御堂と御寺と入部村の御

御堂の御佛堂の御堂と御寺と入部村の御

御堂の御佛堂の御堂と御寺と入部村の御

御堂の御佛堂の御堂と御寺と入部村の御

御堂の御佛堂の御堂と御寺と入部村の御

御堂の御佛堂の御堂と御寺と入部村の御

一 志摩郡 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門

七寺門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門

榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門

榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門 榑井門

一 始末郡 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門 雷門

有村の海へ入りて海より津守人

吉井門 福井村 信岳よりあり

津守門 二宮村 津守村ありて海より津守人あり

入る津守より津守人あり

一 津守部 津守門 津守部 山宮屋 津守村 津守部あり

村より津守部より津守部ありて二段津守部あり

津守部ありて津守部のありて海より津守部あり

津守部あり

津守門 津守部 津守部 津守部 津守部 津守部

津守部あり

津守部あり 津守部あり 津守部あり 津守部あり

津守部あり 津守部あり 津守部あり 津守部あり

津守部あり 津守部あり 津守部あり 津守部あり

津守部あり

津守門 津守部あり 津守部あり 津守部あり

津守部あり

津守門 津守部あり 津守部あり 津守部あり

津守門 津守部あり 津守部あり 津守部あり

津守部あり

津守門 津守部あり 津守部あり 津守部あり

津守門 津守部あり 津守部あり 津守部あり

津守部あり

一宗像郡 江門 江村のききも川を流すところには
大木川の源を流す一流のきき村を流す田村と云ふ
田村のきき川を流すところには一流のきき村を流す
一流のきき村を流す流す田村を流す流す流す流す
今く江門のきき

西郷門 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

一國中法郡 藤市九十二丁

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町
不入道 不入道 不入道 不入道 不入道 不入道
西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

一瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

西郷 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町 西郷町

尚院

日知堂の山崎の山崎の山崎の山崎

横院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院主

日知堂の山崎の山崎の山崎

声

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎

院

日知堂の山崎の山崎の山崎



新刊國續風土記卷之一終

後在國新... 氏...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



Handwritten signature or mark at the bottom center of the page.

